
不完全の完全性

悠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不完全の完全性

【Nコード】

N7650J

【作者名】

悠

【あらすじ】

神とは？ 人とは？ 僕たちの生きる意味。全知全能の造物主によって創られたであろう僕たち人間の存在の理由とは？ 軽く宗教チックな掌編です。

(前書き)

※キーワードにもあるように、この思想は破滅的です。宗教関連の方が見たら気分を害される恐れがあります。そういった方は初めから見ないことをお勧めします。

不完全の完全性

僕は時折考える。

人と言う種はなぜこうも不可解且つ理不尽な生き物なのだろう、と。

もしもこの世界を生み出した神と呼ばれる存在があるのだとして、なぜこんなにも非効率な存在を生み出したのか。

神の定義に依るならば、人に自意識なんて不確定要素の強いイレギュラーを認めるはずがない。

人は不完全で理不尽で、どうしようもなく非効率だ。

この不完全さを神という存在の唯一の失策ととるのか、それともそこにはなくてはならない何か重大な意味があるのか。

前者はあり得ない。

なぜなら我々の考える神とは完全にして無欠。全知全能であるのだから。

ならば

我々人間を不完全な生命体として生み出した意味。

考え得る一つの可能性としては、

この不完全さこそが、神の求めたものなのだろう。

不完全なものこそが完全である。

これは僕の持論だ。

もしどこかで同じような言葉を聞いたことがあるならば、二番煎じと

笑ってくれていい。

だが、僕は思うのだ。

全ての生あるものに、形あるものに死が訪れるのだとしたら。

この世界にも、そして神にも必ず寿命がやってくる。

そしてそれはきっと、僕たちのような不完全なものがあるからこそ、

訪れる終わりだ。

僕たちはもしかしたら、世界に、神に寿命を与えるために存在しているのかもしれない。

神の捉える、一貫性という名の完全を体現するために。

僕たちが不完全で愚かであるからこそ、神の創造せし完全なシステムは稼働する。

この愚かさが、いずれ世界の、神の死を招く。

それこそが、神の願い。神の思惑。

僕はそう捉える。

ならば進もうか。

この愚かな身のままに。

地球を殺し、世界を殺し、いずれは神をも引き裂こう。

ただ愚かな身なりに。

愛すべき死と終焉を、隣人として。

(後書き)

ここに登場する「僕」とは、基本作者です。故にこの思想は作者の思想でもあります。「神」というもの。何故僕たちはやることなすこと上手くいかないのか。少々鬱っぽくなりますが、結局、宗教的だったり哲学的な思想って、個々人の考えるものこそが真実なんですよね。僕は僕なりの神様観を、この文で表現したつもりです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7650j/>

不完全の完全性

2010年10月8日21時08分発行